

## 【水】

沖繩県 南風原中学校

二年

比嘉 琉心ひが るい

今、日本ではあたり前のように皆が飲んでいる水。僕は今まで水について深く考えたことがありませんでした。しかし、これをきっかけに考えてみようと思いました。

水について調べていると驚くことが書かれていました。それは海外では『水道水は飲めない』ということですが、それは水を飲むには必ず水を買うに行くということですが、日本は世界の国々の中でも水道水が飲める唯一の国だと知り驚きました。日本は先進国であり、そして水質が高いことも分かりました。今、日本では普通に飲んでる水ですが、世界では今水を飲めない人もいるということを知ってほしいです。そんな人達には、僕たちができることとはいったいなんでしょう。僕は初めにぼ金がいきました。一人が十円募金しただけで、日本は十億円以上のお金が集まるのです。ぼ金をする時、子供はお金を持っていない人もいます。それでも十円だから、そんなに難しいことではありません。問題は水を飲めない人の存在を知り、その人達に共感する。というところですが、それがとても難しいのです。理由は、この水を飲めない人達は日本の中で、水のあふれる環境で育っているのだから、直接その人達とは関わっていないのでふーん。別にいいじゃん？他の人が募金するからだいじょうぶでしょ。と思う人がほとんどだと思います。このような人達がいるから、ダメなんだと僕は思います。このような人達に会いに行くことだと僕は思います。そうすることでこんな状況のようなのになにもできないなんて。ぼ金しなくちゃという意識が芽生えたと僕は思います。しかし、その国に行くということはそれなりの覚悟が必要だし、大量のお金も必要となります。ですので、僕は、現地の動画、画像かメッセージなどを見てみるのはいかがでしょうかと考えました。そして、きれいな水を得ることができ

ない不幸感を感じ、そしてきれいな水を自分達だけで独り占めしているという罪悪感を感じると思っています。きれいな水を得ることができない人達がかわいそう、そして自分たちだけが・・・と思った人達がかわいそう、そして自分達だけが・・・と思った人達が次に行動することは何なのか。僕はぼ金につながると思います。他にも方法はあると思います。例えば、実際にきれいな水を買わないでみたりしてみるなど・・・。こうすることで、小さい心、十円集まって集まって大きな心、そして十億円という大金がでか上ると僕は思います。こうすることできれいな水を得られない人達へと水が与えられると思います。しかし、水が飲めない人達の数を調べると、六億六千三百万人という数がでてきました。これはとてもびっくり。水を一人に一ヶ月分（二ℓの水十八本ぐらい）の水をわたすとして、一人にかかる金額はだいたい、千八百円ぐらい。六億六千三百万人×千八百円で、なんと一兆二千九百三十四億という結果がでました。これは日本で一人約一万円ぼ金しないといけない。それはほぼ百パーセント無理に近いです。それではどうしたらいいのか、それは他の国にも働きかけることだと思います。アメリカには大勢の人がいます。中国には大勢の人がいます。ヨーロッパの国々には大勢の人がいます。色々な国々がきれいな水を飲めない人達のことを理解し、共感し。一人十円を目標にぼ金すると、軽く一兆三千億円なんて超えると思います。余ったお金でその国・地域に貯水池などを設けるとより良くなると思います。

つまり、大事なのは、お金ではなく助けたい、力になりたいと思う心だと思います。『小さな心が意志が集まればゆるぎない大きな心が意志がでか上がる。』